

土木学会 地震リスクと事業継続性に関する小委員会
第3回 WG-2:地震リスクマネジメントとリスクファイナンス
議事抄録(案)

日時 2009年2月5日(木)15:00-16:30
場所 土木学会 E 会議室
出席者 吉川、兼森、神田、小丸、小路、中村、宮島、村地、矢代、山田 10 名
(名簿順、敬称略)、欠席 2 名(小林、大峯)
配布資料 資料 3-1: 第 2 回 WG-2 議事抄録
資料 3-2: WG の紹介文(山田氏より)
資料 3-3: SRM 小委員会・仮想都市設定(神田氏より)
資料 3-4: 仮想都市における電力事業者の SRM 概要(山田氏より)

1. 前回議事録の確認(資料 3-1)
2. 委員会 Web サイトにおける WG-2 紹介文(資料 3-2)
山田氏より説明の上、了承。
3. SRM 小委員会・仮想都市設定案について(資料 3-3)
神田氏より概要を説明いただき、各モデルケースに適用する場合の問題等を協議。主な意見は以下のとおりであり、**B 案で決定**。
 - 沿岸の方がリスクマネジメントにバリエーションが出せそうである。(電力、製造)
 - 都市の規模はどの案でもほぼ同じであり、どの案でも可。(商業、自治体)
 - 確率が極めて低い断層が横切っているという条件をどう考えるかがポイントになりそうである。(鉄道)
 - 河川と液状化の影響がある方が評価しやすい。(水道)
 - 沿岸の場合、津波の影響を考慮する必要があるか？

【課題】

- 仮想都市名の設定。
- 次回全体 WG での発表用資料として、前回提示の各モデルプランについて、仮想都市を考慮したモデルやリスクマネジメントのポイント等を再考する。
→2/20(金)までに、村地(CC:山田)まで送付。

4. 仮想都市における電力事業者の SRM 概要案について(資料 3-4)
山田氏より前回提示のモデルプランを再検討した案について説明いただいた。主な意見は以下のとおり。
 - 形式的な対策は実施しているが、リスクマネジメントはできていないという現状に対して、SRM の実践を具体化している点が他のモデルプランでも参考になる。
 - 他のモデルプランも、アピールする点や Cost-Benefit 等を明確にできるとよい。

5. 前委員会の文献について
兼森氏にまとめていただき、現在、各 WG の幹事に配布済み。
WG-2 メンバーへは、CD-R 等で次回配布。(担当: 村地)
6. 新メンバーの紹介
応用 RMS 小丸氏より自己紹介。
7. 次回会合
小委員会 : 2月27日(金) 14:00-17:00(土木学会)
WG-2(第4回) : 3月18日(水) 14:30-16:30(土木学会 F 会議室)

WG-2 幹事: 村地、山田